

# コーオペ教育世界事情

～WACE 世界大会参加報告～

経済学部教授 田中寧

I.実施場所と実施期間：香港理工大学、2月2日～5日開催

II.参加者の内訳：23カ国から247名参加

(主な参加国(参加者数)：香港(69)、タイ(60)、オーストラリア(29)、アメリカ(20)、イギリス(13)、カナダ(7)、南アフリカ(7)、スウェーデン(6)、日本(5)、フィリピン(5)、フランス(5))

日本からの参加：京都産業大学、立命館大学、福井大学、福島大学

III.大会の内容：

A.3つの基調講演：

- (1) WACE 理事スレイマン・デモカン(香港理工大学副学長)  
「香港理工大学におけるコーオペ教育の展開」
- (2) 香港産業連合副議長ロイ・チャン博士(TTIグループ副会長)  
「大学と企業の連携の成功例」
- (3) WACE 会長モウリッツ・ヴァン・ルーイエン博士(Nyenrode BusinessUniversiteit 学長)  
「コーオペ教育：大学と企業の連携の将来」

B.3つのパネル・ディスカッション

- (1) 大学パネル：テーマ「世界のコーオペ教育」  
参加大学(6名)：香港理工大学、タイ・スラナレ工科大学、アメリカ・ドレクセル大学、カナダ・ウォータールー大学、オーストラリア・ヴィクトリア大学、南アフリカ・ダーバン工科大学、
- (2) 学生パネル：テーマ「インターンシップから学んだこと」  
参加学生(8名)：インターンシップ経験のある香港の大学生
- (3) 企業パネル：テーマ「実社会教育のための大学と企業の連携」  
参加企業(3社)：金融、コンサルタント、人材管理、

C.論文発表：63、ワークショップ：9、ポスターセッション：5

日本からの参加：

(論文発表)

京都産業大学・田中寧「コーオプ教育の学業と就職に対する影響の評価」  
福井大学・高橋謙三教授「先端技術における人材開発」  
(ポスターセッション)  
福島大学・五十嵐敦教授「大学と職場におけるキャリア開発」

#### IV. 所感

- (1) 今回の主なテーマなど；
  - (i)世界的景気低迷に対するコーオプ教育提供大学の対応。
  - (ii)増加するキャリア教育需要に対するインターンシップ先の確保。
  - (iii)ポータルサイト：インターネットを使ったインターンシップ先企業と学生のマッチング
  - (iv)四川大地震被災地におけるインターンシップとしてのボランティア活動
- (2) 重度の「ガラパゴス化」にある日本のキャリア教育の現状  
世界標準：6か月～12か月、有報酬（または大学から支援）、必修または多い割り当て単位数。  
日本：2週間、無報酬、選択かつ少ない割り当て単位数  
&WACEの参加者数、発表者数の少なさ
- (3) WACE大会の日本開催の可能性？京都は人気あり

IV.次回の世界大会：2010年フィラデルフィア・ドレックセル大学